

第 67 期

中間報告書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL http://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

【お知らせ】

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



山稜の新雪・六白山と霞沢岳

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第67期第2四半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

欧州発の金融不安やアメリカの景気減速等に伴う円高の進展により、東日本大震災等から立ち直りつつあったわが国経済は再び景況感が厳しくなりつつあります。

医薬品業界におきましても後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、国内外の企業間競争がより熾烈化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。このような状況下、当社は今期から「コアビジネスの拡大と発展、そして妥協なき変革」をスローガンとする計画期間3年の中期経営計画「CORE3」をスタートさせました。

国内におきましては、糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」（ミチグリニドとボグリボースとの配合剤）の製造販売承認を4月に取得し、7月に新発売いたしました。また、「グルファスト®」、「ユリーフ®」、「サラジェン®」の新薬3製品、昨年5月に新発売いたしました「エポエチナルファBS注JCR」及び既存製商品の積極的な医薬情報活動を推進いたしました。海外におきましては、シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ®」）について技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）により、欧州各国での展開が進められております。

研究開発面におきましては、各テーマの研究開発を推進しテーマのステージアップ等を図りました。また、厚生労働省が設置いたしました「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が高い薬剤と評価され開発企業の募集が行われました抗癌剤静脈内投与による血管外漏出治療薬「デクスラズキサン」につきまして、日本における開発・販売権をスペファーム社（オランダ）から取得いたしました。

なお、本年5月10日開催の取締役会で決議いたしました取得株式数を280万株（上限）、取得価額総額を50億円（上限）とした自己株式の取得は、本年9月22日をもちまして終了いたしました。

第67期下期におきましては、中期経営計画初年度の目標を達成すべく新薬の育成等を推進し、収益性の向上を図ります。また、研究開発に経営資源を最大限投下して研究開発パイプラインを強化することにより「創薬研究開発型企業」としての成長、ならびに企業価値の向上を目指してまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役社長 神津陸雄

連結経営成績

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制施策の進展に加え、国内外の企業間競争がより熾烈化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、海外景気の減速や円高の進行などによる景気悪化への懸念、企業におけるIT投資及び設備投資への慎重な姿勢や依然として低水準な個人消費など、内需の低迷を背景に厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期の業績は以下のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	増減率（%）
売上高	30,976	31,798	2.7
営業利益	2,782	3,564	28.1
経常利益	2,952	3,964	34.3
四半期純利益	1,449	2,471	70.6

医薬品事業の売上高は、277億5千万円（前年同期比0.5%減）となりました。本年4月に製造販売承認を取得いたしました糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」（ミチグリニドとボグリボースとの配合剤、開発番号KMV-0207）の販売に向けた準備を進め、薬価基準収載後の本年7月22日に新発売いたしましたほか、昨年5月に新発売いたしました腎性貧血治療薬「エポエチナルファBS注JCR」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。また、研究開発テーマの導出に係るマイルストーン収入などの技術料売上が減少いたしました。また、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ®」）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、昨年6月にドイツ国内において製品名「UROREC®」として新発売して以降、引き続き欧州各国において発売ならびに発売に向けた準備を進めております。

その他の事業の売上高は、40億4千8百万円（前年同期比31.1%増）となりました。情報サービス業で減収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして増収となりました。

利益面では、医薬品事業での技術料売上の減少による売上原価率の上昇及びその他の事業での売上原価率の上昇などがありましたが、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしましたことから、営業利益及び経常利益は増益となりました。また、四半期純利益につきましては前年同期に計上いたしました投資有価証券評価損などの特別損失が減少いたしましたことなどにより大幅な増益となりました。

研究開発の状況につきましては、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。また、厚生労働省が設置しました「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が高い薬剤と評価され開発企業の募集が行われました抗癌剤静脈内投与による血管外漏出治療薬「デクスラズキサン」につきまして、本年8月に日本における開発・販売権を取得する契約をスペファーム社（オランダ）と締結し、国内開発を行うことといたしました。

連結業績予想

平成24年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

連結業績見通し (単位：百万円)

	平成24年3月期見通し	平成23年3月期実績	対前期増減額	増減率 (%)
売上高	64,600	64,393	207	0.3
営業利益	6,500	6,463	37	0.6
経常利益	7,200	6,936	264	3.8
当期純利益	4,600	4,004	596	14.9

・売上高

医薬品事業におきましては、技術料売上の減少を見込んでおりますが、引き続き新製品の育成を図り微増収の計画です。

その他の事業におきましては、経営環境の悪化を背景に減収を見込んでおります。

・利益

医薬品事業におきましては、技術料売上の減少や売上構成の変動等により売上原価率が上昇しますが、導入テーマに係る契約料支払いの減少等による販売費及び一般管理費の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ増益を見込んでおります。その他の事業におきましては、減収による減益を見込んでおります。なお、営業外損益ならびに特別損益におきましては特別なものは見込んでおりません。

研究開発の状況

経営ビジョンである「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発におけるコア領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、グローバル市場への進出と拡大を目指し、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

● 自社

(平成23年11月現在)

開発段階	製品名／ 一般名／開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
第Ⅲ相	グルファスト [®] ／ ミチグリニド	創製品	2型糖尿病 (DPP-4阻害剤、ビッグアナイド系 薬剤との併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH) 作用	
	シロドシン [®] ／ KSO-0400	創製品	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用	1日1回投与
	オザグレ [®] ／ KCT-0809	テイク製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
第Ⅰ／Ⅱ相	ユリーブ [®] ／ シロドシン	創製品	尿路結石症	α1A受容体拮抗作用	効能追加
	PA21	導入品／ビフォーファーマ(スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒトモノクローナル抗体	治験実施地域： フランス

● 導出

(平成23年11月現在)

開発段階	一般名／開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認取得	シロドシン	第一三共 (日本)	中国	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
承認申請中	ミチグリニド	エーザイ (日本)	アセアン ^{※1}	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌 促進作用
	シロドシン		アセアン ^{※2} 、インド、 スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
第Ⅲ相	ミチグリニド	USV (インド)	インド	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌 促進作用
第Ⅱ相	ベドラドリン	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2受容体刺激作用
第Ⅰ相	KGA-3235	グラクソ・スミスクライン (イギリス)	日本、韓国、中国、台湾 を除く全世界	2型糖尿病	SGLT1阻害作用
	ベドラドリン	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2受容体刺激作用

※1：発売：タイ、承認：フィリピン、申請中：2ヶ国

※2：申請中：アセアン2ヶ国

連結財務諸表

●四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)	期別 科目	前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	85,105	86,357	89,851	流動負債	14,258	16,032	15,907
現金及び預金	21,885	20,548	23,115	支払手形及び買掛金	4,461	4,750	5,228
受取手形及び売掛金	21,283	22,849	23,012	短期借入金	2,319	2,101	2,325
有価証券	27,096	26,797	27,500	未払法人税等	991	1,310	1,104
商品及び製品	4,909	5,818	5,280	賞与引当金	2,059	2,309	2,127
仕掛品	704	1,507	1,517	その他の引当金	650	639	795
原材料及び貯蔵品	3,869	4,151	4,212	その他	3,775	4,919	4,326
繰延税金資産	2,255	2,172	2,327	固定負債	6,022	6,323	6,409
その他	3,101	2,522	2,900	長期借入金	1,446	1,598	1,768
貸倒引当金	△1	△11	△17	退職給付引当金	3,786	3,917	3,830
				役員退職慰労引当金	111	124	118
固定資産	57,732	56,574	56,396	資産除去債務	111	116	114
有形固定資産	27,610	26,838	27,096	その他	565	567	578
建物及び構築物	11,999	11,408	11,619	負債合計	20,281	22,356	22,316
土地	13,367	13,191	13,367	(純資産の部)			
建設仮勘定	16	278	72	株主資本	120,436	119,276	122,067
その他	2,227	1,959	2,037	資本金	24,356	24,356	24,356
無形固定資産	1,555	1,102	1,378	資本剰余金	24,254	24,254	24,254
投資その他の資産	28,567	28,632	27,922	利益剰余金	76,163	79,345	77,796
投資有価証券	25,138	24,215	24,434	自己株式	△4,337	△8,679	△4,339
繰延税金資産	2,013	2,375	2,171	その他の包括利益累計額	1,938	1,105	1,678
その他	1,462	2,093	1,363	その他有価証券評価差額金	1,938	1,105	1,678
貸倒引当金	△47	△52	△47	少数株主持分	181	193	186
資産合計	142,838	142,931	146,248	純資産合計	122,557	120,575	123,932
				負債純資産合計	142,838	142,931	146,248

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前第2四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	30,976	31,798	64,393
売上原価	9,695	11,165	22,498
売上総利益	21,280	20,633	41,895
販売費及び一般管理費	18,498	17,069	35,432
営業利益	2,782	3,564	6,463
営業外収益	457	457	781
営業外費用	287	56	308
経常利益	2,952	3,964	6,936
特別利益	342	77	533
特別損失	920	202	1,137
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,374	3,838	6,332
法人税、住民税及び事業税	956	1,029	2,416
法人税等調整額	△31	329	△92
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	1,449	2,479	4,009
少数株主利益	0	7	4
四半期(当期)純利益	1,449	2,471	4,004

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前第2四半期 累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期 累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,810	3,772	4,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△911	△1,170	△1,941
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644	△5,666	△1,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△2	△3
現金及び現金同等物の増減額	251	△3,067	1,472
現金及び現金同等物の期首残高	48,681	50,153	48,681
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	48,932	47,086	50,153

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

製商品の紹介

●主な医療用医薬品

その他代謝用薬	
グルファスト錠	糖尿病治療薬
グルベス配合錠	糖尿病治療薬
エポエチンアルファBS注JCR	腎性貧血治療薬
神経系用薬	
カバサール錠	パーキンソン病治療薬
感覚器官用薬	
リザベン点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬
リズモンTG点眼液	緑内障・高眼圧症治療薬
循環器官用薬	
ベザトールSR錠	高脂血症治療薬
キサンボン注	脳循環改善薬
消化器官用薬	
サラジェン錠	口腔乾燥症状改善薬
ガスコン	消化管内ガス駆除薬
アラント	胃・十二指腸潰瘍治療薬
ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬	
ユリーフ錠	排尿障害改善薬
ウテメリン	切迫流・早産治療薬
フラグミン静注	血液凝固阻止剤
ゾラデックス1.8mgデポ	子宮内膜症治療薬
フルスタン錠	活性化ビタミンD ₃ 製剤
アレルギー用薬	
リザベン	アレルギー性疾患治療薬
ドメナン錠	気管支喘息治療薬

●主なヘルスケア食品

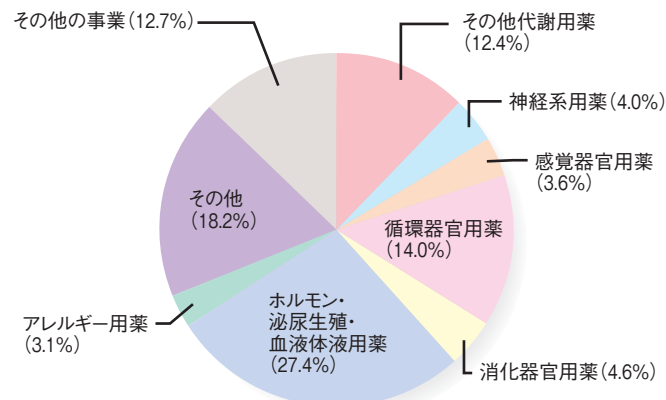
介護・高齢者向け食品

新スルーキング i・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーパートナー・・・液状食品やミキサー食を見た目においしそうに食べやすいゼリー食にできる介護食調整用食品です。いろいろな食品を風味や色を変えずに固めることができ、冷たいままでも温めてもおいしく召しあがれます。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。調理済みのため加熱の必要はなく、開けてそのまま召しあがれます。いとより鯛、かに風味、ほたて風味、いわし、うなぎ、ポークしょうが焼があり、たんぱく質7gのぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。また栄養強化タイプとして、カレー風味、ビーフシチュー風味、エビチリ風味、カキ風味の4種があります。

●連結売上高比率 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)



エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できるゼリーです。味の種類は、オレンジ、ウメ、カリン、マスカット、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召しあがれるビスキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

たんぱく質調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしいパック入りごはんです。温めるだけで手軽に召しあがれます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしい乾麺です。

トピックス

速効型インスリン分泌促進薬/食後過血糖改善薬配合剤

グルベス®配合錠 GLUBES® Combination Tab.



新発売

本年7月に、速効型インスリン分泌促進薬/食後過血糖改善薬配合剤である「グルベス®配合錠」を新発売いたしました。

「グルベス®配合錠」は、当社が創製した速効・短時間作用型のインスリン分泌促進薬ミチグリニド（製品名：「グルファスト®錠」）と食後過血糖改善薬ボグリボースとの配合剤です。ミチグリニドによる食後の速やかなインスリン分泌促進作用とボグリボースによる糖質の消化・吸収を遅延する作用を併せることによって、食後血糖をより強力に改善します。

糖尿病早期の典型的な臨床症状である食後の血糖上昇に対して積極的な治療を行うことは、その後の糖尿病の進行及び心血管系併症を含む様々な糖尿病合併症の発症を抑制する上で重要であると考えられています。

当社は糖尿病などの代謝・内分泌領域をマーケティングコア領域の一つに位置付けており、「グルベス®配合錠」の特性を活かした治療提案を行うことにより、2型糖尿病治療により一層貢献してまいります。

新発売

当社は、慢性腎不全などで低たんぱく食事療法を行っている方に、主食や惣菜をはじめとしたたんぱく質調整食品を開発・販売しております。

本年9月に、「ゆめの食卓K3」を新発売いたしました。「ゆめの食卓K3」は、「ゆめの食卓K1・K2」の第3弾として新たな6種類のメニューを1セットとしたもので、各メニューいずれも1食あたり308キロカロリー・たんぱく質9.5グラムに調整するなど、栄養成分値に配慮した完全調理済の冷凍おかずセットです。ヘルスケア事業部の管理栄養士は、安心して食事療法を継続していただけるよう、「和食メニューを盛り込んだホットと落ち着くメニュー」をコンセプトに、ゆめごはんによく合うメニュー作りを進めました。今回新発売したメニューはお客様より要望の多かった和食メニューを中心に、何度も試作を重ねた結果、メリハリのある飽きのこない味に仕上がりました。

在宅でたんぱく質の摂取制限をしなければならない方が、「ゆめの食卓」などを利用することで、より選択肢の広い豊かな食生活を送ることが期待できます。



(盛り付け例：めばるのみぞれ煮セット)

お問い合わせ先

ヘルスケア事業部お客様相談センター
フリーダイヤル：0120-515-260

株式の状況

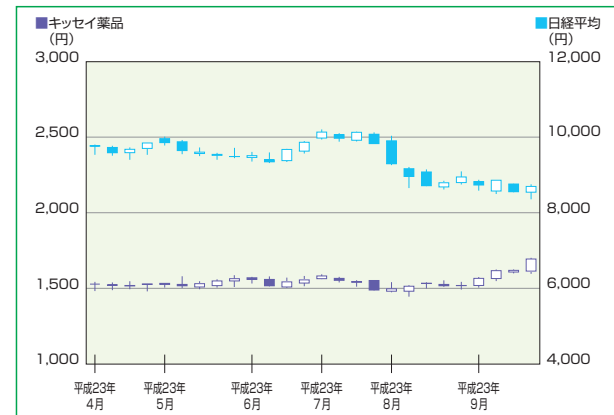
発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 56,911,185株
 株主数 3,975名 (前期末比増減 111名減)

●大株主

株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	32,440百株	6.3%
有限会社カンザワ	31,782	6.2
神澤邦雄	27,030	5.3
株式会社八十二銀行	26,709	5.2
株式会社みずほ銀行	26,046	5.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,069	4.3
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,502	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	16,406	3.2
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	15,327	3.0
神澤陸雄	15,114	2.9

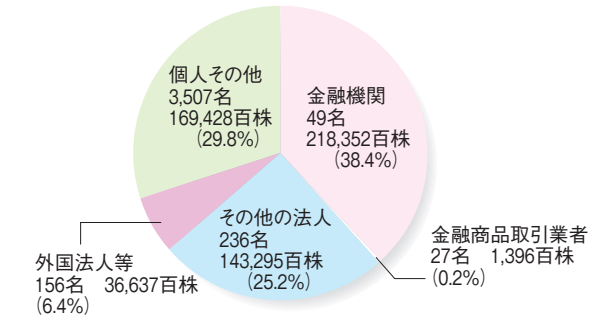
(注) 1. 当社は自己株式54,377百株を保有しておりますが上記大株主には記載していません。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株価チャート

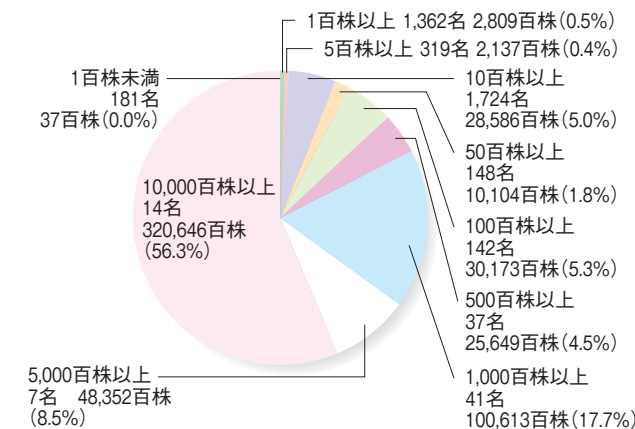


(平成23年9月30日現在)

●所有者別分布



●所有株数別分布



会社の概要

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**
 設立 昭和21年8月9日
 資本金 24,356,653,478円
 主要事業内容 医療用医薬品の製造販売
 本社 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710
 東京本社 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022
 東京本社(小石川) 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、東京支店、横浜支店、松本支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、高松支店、広島支店、福岡支店
 (注)支店の下に44営業所を設置しております。
 工場 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)
 研究所 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市)
 上越化学研究所(新潟県上越市)
 ヘルスケア事業センター(長野県塩尻市)

従業員数 1,584名

(平成23年9月30日現在)

代表取締役社長 神澤陸雄
 取締役副社長 味澤幸義
 専務取締役 柳澤圭一郎
 専務取締役 降旗征一郎
 常務取締役 足立寿喜夫
 常務取締役 赤羽増夫
 取締役 御子柴今雄
 取締役 佐藤公衛
 取締役 柴田信男
 取締役 両角正樹
 取締役 中田安紀
 取締役 降旗喜康
 取締役 伊佐治正哲
 取締役 矢花真夫人
 取締役 米窪志道
 監査役 中川寛

ホームページのご案内

タイムリーな情報をホームページで提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



CSR報告書

CSR経営の様々な活動を「CSR報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先: 広報部 TEL: 0263-25-9523 (土・日・祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)